

# 社会の安心・安全に貢献する 東芝の情報セキュリティ技術

Toshiba Information Security Technologies Supporting Safe and Secure Society

2003年10月に経済産業省から報道発表された「情報セキュリティ総合戦略」は、情報技術を経済や社会の“神経系”を担う基盤と位置づけています。情報技術が社会の基盤に成長したことで、情報にかかわる事件・事故が社会に及ぼす損害も大きくなってきました。企業や組織は、不正競争防止法が求める営業秘密管理や、個人情報保護法が求める安全管理措置に沿って、情報セキュリティの確保に積極的に取り組んでいます。今や、企業や組織、家庭など社会全体が直面している様々なリスクに対して、網羅的に一貫性を持って、予防、被害最小化、回復力保持のための対策を打っていくことが求められているのです。

東芝は、暗号や認証など基盤となる技術、製品やシステムのセキュリティ機能を実現するコンポーネント技術、安全なシステムの構築技術、及び社会インフラのセキュリティ技術などを幅広く手がけてきました。この特集では、最近の当社における情報セキュリティ技術の成果をわかりやすく紹介いたします。個人情報を集めることなくサービスを展開するための匿名認証技術をはじめ、いずれも情報社会の安心・安全に大きな貢献をする技術です。同時に、暗号・認証など基盤技術の安全性、システムに実装したときの消費電力の極小化、ユーザーをいらいらさせない性能、誰でも簡単に扱えるよう運用負荷の極小化など、実装に求められる高いハードルにも挑んでいます。

一方、ネットワークを活用した、映像や音楽などデジタルコンテンツの配信ビジネスでは、著作権の保護や課金決済の安全性が事業の基盤であり、まさに情報セキュリティが作りあげたビジネスです。情報セキュリティがあっこそ生まれるこれらの取組みは、わたくしたちの生活に新しい価値を創造します。

当社の情報セキュリティ技術は、社会の安心・安全を確保するとともに、政治や経済、文化を革新する力を社会にもたらしています。



遠藤 直樹  
ENDO Naoki